

令和2年度 おいしいごはんを食べよう県民運動 各会員による取組状況（団体）

21 会員 参加者数 742,480 人

団体名	事業名	時期	場所	参加者数	主催者	事業内容等
健康ひょうご21県民運動推進会議	健康ひょうご21県民運動健康づくり推進員研修会	10月～12月	通信研修	256人	健康ひょうご21県民運動推進会議	健康づくり推進員養成講座として、「健康づくり推進員支援ガイド」を用いて書面研修を実施 からだの健康づくり、8020運動の啓発、食の健康づくりについて研修
	食育コンサート	10月～11月	県内8か所の保育所等	725人		幼児とその保護者を対象に、歌手グループの歌や踊りを通じた、大豆の栄養価、バランスのとれた食生活の啓発
	Dr.家森と楽しむ世界の健康長寿食	10月15日	神戸ポートピアホテル	46人		健康長寿の秘訣をテーマとした講演「フランス料理は長寿食か？－カナダに学ぶ食べ方上手－と世界の健康長寿食をホテルのシェフアレンジで提供したポートピアホテルとの共同事業
	食の健康運動リーダーの実践活動	通年	県内	174,075人		幼児～高齢者を対象にした、テーマに沿った調理実習や講話
兵庫県看護協会	まちの保健室	通年	県内7か所	69人	兵庫県看護協会	子育て相談では、「生後22日・1時間ごとに母乳を飲んでおり、のみすぎでないか心配」「8か月：離乳食が2回食になり、以前は良く食べていたが、食べる量が減っている」「11か月：好き嫌いがあり、おかゆに野菜などまぜて何でもたべていたが、お粥やおにぎりをおかずと単体で出すと食べない。卒乳について教えてほしい」「5か月：離乳食を食べ始めた。食べるだけ食べさせていいのか」などの質問があった。離乳食については、開始時期は母乳での栄養があるため、便秘や下痢などの変化が無ければ徐々に摂取量を増やしても問題はないことを伝えた 高血圧については、「高血圧で薬は飲んでいないが、何に気を付けたらよいのか」「塩分の調整がわかりにくい」等の相談が多くあった。そのほか高脂血症や、肥満やコロナ禍での運動不足などについても運動と食事の両方での注意が必要であることを指導した
	栄養講座	通年	県内3か所	24人		離乳食の進め方、食べさせ方、成長・発達についての講座を実施
兵庫県連合婦人会	地域ごはん食推進事業	7月～3月	県内43か所	4,791人	兵庫県連合婦人会 兵庫県米穀事業協同組合	講話(ごはん食の大切さ、伝統料理の啓発) ごはん食の資料作成、配布の実施
兵庫県いずみ会	地域ごはん食推進事業	7月～2月	県内31か所	572人	各市町いずみ会 兵庫県米穀事業協同組合	講話(ごはん食の大切さ、日本型食生活の推進について) 伝統食の資料作成、訪問配布の実施
兵庫県消費者団体連絡協議会	地域ごはん食推進事業	7月～2月	県内73か所	996人	兵庫県消費者団体連絡協議会 兵庫県米穀事業協同組合	調理動画配信(ごはん食、伝統食)、レシピ・啓発資料作成、各家庭での調理実習の実施
(公社)兵庫県食生活改善協会	ごはん料理教室	8月～3月	—	—	兵庫県米穀事業協同組合	ごはん料理を広く啓発するため、料理動画の作成・配信
神戸市生活指導研究会	米の食味検査	2月9日～3月3日	播州農機販売本社 兵庫農機販売本社	190点	神戸市生活指導研究会	米の食味を測定する食味検査を実施
生活協同組合コープ自然派兵庫	田んぼの楽校	5月12日、5月17日、6月20日、6月28日、7月11日、7月19日、10月24日、11月15日	神戸市西区上津橋	のべ362人	田んぼの学校運営委員会	マイ田んぼ、共同田んぼの2タイプの関り方で、年間を通して参加し、水稲の種子温湯消毒から田植え、収穫までを体験(活動11年継続)
	食でウイルスに打ち勝つヒント！家族の免疫パワーアップ秘訣講座	10月11日	オンライン	47人	コープ自然派兵庫	腸内環境を整えるご飯を中心にした和食についての学習会を実施
	コウノトリ育む農法 いのちあふれるお米 上映会 & 勉強会+紙芝居	10月26日	淡路市	10人	コープ自然派兵庫	淡路のコウノトリ飛来をきっかけに豊岡のお米作りの取組みについて学習・交流会を実施
	自然派のお米を食べて食料自給率UP！	11月6日	オンライン	6人	コープ自然派兵庫	農業、地産地消、食料自給率、米飯についての学習会を実施
	道長さんのぬか漬け作り	11月26日	コープ自然派姫路センター	13人	コープ自然派兵庫	米ぬか、ぬか床の活用方法、ぬか漬け学習会を実施
兵庫県生活研究グループ連絡協議会	ひょうご「農林水産物」直売市	10月17日、18日	明石公園	—	兵庫県民農林漁業祭実行委員会	日本型食生活の啓発展示を実施
兵庫県青年農業士会	たべるをはじめるの会食育講座	7月22日	甲子園大学	66人	兵庫県青年農業士会	甲子園大学の学生を対象に、農業者から生産に対する思いや就農の経緯、農産物が消費者に届くまでの過程等について講義を実施
	たべるをはじめるの会食育講座	8月26日	兵庫楽農生活センター	44人		甲子園大学の学生を対象に、農場での収穫体験や県内で生産された野菜を使用した料理の試食、農産物直売所見学の食育講座を実施
兵庫県信用農業協同組合連合会	環境保全・食農・金融経済教育にかかる教材本の贈呈	3月	県内公立小学校 特別支援学校	49,000人	JAバンク兵庫	兵庫県内公立小学校の5年生全員及び特別支援学校に、教材本「農業とわたしたちの暮らし」を贈呈
兵庫県農業共済組合連合会	第20回「農」絵画コンクール	9月	県内小学3年生	3,210人	兵庫県農業共済組合連合会	農作業風景、農村風景など「農」が創出する働く喜び、豊かな自然、美しい景観を題材とした絵画を通じ、農業の大切さを実感
兵庫南農業協同組合	ちゃぐりんスクール	6月～11月	稲美町	30人	JA兵庫南総務部 ふれあい広報課	かまどごはん炊飯を実施
みのり農業協同組合	KOUUNプロジェクト 水稲体験収穫祭	2月10日	西脇小学校	60人	JAみのり青年部 西脇支部	小学生を対象とし、稲刈り体験(10月)を通じて、自らが栽培した米を収穫後、みんなで味わう(コロナ禍により田植え体験(6月)は中止)

団体名	事業名	時期	場所	参加者数	主催者	事業内容等
ハリマ農業協同組合	「きらきら講座」	8月19日～21日	JAハリマ本所	60人	JAハリマ	ロコモ予防に効果的な調理実習を実施、特にごはんは大切なエネルギー源であることを啓発
	ちやぐりんフェスタ	10月17日	JAハリマ本所と周辺の圃場	38人		特産「丹波黒大豆」の枝豆収穫作業体験、昼食に職員手作りの「おにぎり弁当」を味わった
	JAハリマ かまどごはん塾	10月19日	東山フォレストステーション(波賀町)	38人		5年生の自然学校での体験実習として、洗米後「かまど」を使って炊飯体験を実施 浸水時間を利用して「バッククッキング」、「むらし」の時間を使って「食と農のクイズとゲームの実施
兵庫西農業協同組合	バケツ稲作り	6月11日	越部小学校	32人	揖龍	児童が営農センターの指導の下、バケツ稲作りを実施
	田植え体験	6月17日	高雄小学校	86人	西播磨	児童が営農センターの指導の下、田植え体験を実施
	お米の勉強会	7月28日	揖西小学校	62人	揖龍	お米の歴史や大切さの勉強会を実施
	稲刈り体験	10月2日	伊勢小学校	78人	姫路西部	児童が稲刈りを体験し、米作りを学ぶ
	かまどご飯体験	11月13日	戸原小学校	10人	しそ	児童と営農センターの指導の下、かまどご飯の体験
公益社団法人ひょうご農林機構(兵庫楽農生活センター)	親子農業体験教室	11月14日	兵庫楽農生活センター	60人	兵庫楽農生活センター	黒大豆の収穫体験後、飯ごう炊さんを実施
	かまど炊飯体験	11月8日	兵庫楽農生活センター	43人	兵庫楽農生活センター	一升のお米をもちつきする体験を実施
一般財団法人日本穀物検定協会関西神戸支部	お米・ごはんフォーラム啓発	3月	関西神戸支部	-	関西神戸支部	支部内でお米・ごはんフォーラムについて周知
兵庫県米穀事業協同組合	かまどごはん塾	9月～12月	県内	346人	兵庫県米穀事業協同組合	保育園・幼稚園の児童と保護者対象、かまど炊飯体験・試食、お米の大切さの講義を実施
	お弁当・おむすびコンテスト	7月～2月	県内	5,765点		兵庫県産の農林水産物を使用した、アイデアあふれる「お弁当・おむすび」を広く県民から募集し、選考・表彰式を実施
	お米・ごはん推進フォーラム	2月13日	兵庫県公館から配信	52人		講演会「お米の魅力を再発見!!～今日のごはんの楽しみ方～」 講師：柏木千帆氏(元新聞記者・お米ライター)
	ひょうご「農林水産物」直売市	10月17日、18日	明石公園	8,000人		おいしいごはんを食べよう県民運動パネル展示、ごはん食の有用性の啓発資料配布
	新聞紙面掲載	1月17日、3月21日	神戸新聞	465,433人		県民運動の取り組みを広くPR、ごはんを中心とした和食の効能やお米の魅力食育の大切さを発信
	オンライン親子料理教室	11月29日、2月21日	県内	392人		感染症拡大防止のため、参加者を参集せず、生産者及びプロの料理人を講師として、オンラインによる食育講習と料理教室を実施
	お米de部活応援!	10月～2月	県内高校3校	122人		県内の高等学校で部活動を行う生徒を対象として、補食でごはんを食べることを通じ、生徒や保護者・学校関係者が、ごはん食について理解を深め、ごはん食を増やすことを目的として実施
	おいしいごはんを食べよう県民運動ラジオ&SNS運動企画	3月	KissFM	12,193人		お米やごはん食の有用性について若い世代に広く紹介するため、県内の飲食店の料理人考案の簡単ごはんレシピ(兵庫県産米使用)をラジオ番組およびWEBサイトで紹介し、SNS(ツイッター)で情報発信
	ごはん食啓発資料(山田錦バックごはん)配布	3月	県内幼稚園・保育園18園 県内高校10校	10,000個		兵庫県産米及び県内農業の啓発ため、おいしいごはんを食べよう県民運動の取組を検討された県内幼稚園・保育園、高校を対象に、ごはん食啓発資料を配布
	おむすびの日の啓発	通年	県内	700枚		おむすびの日の普及啓発資料を配付
ごはん食普及啓発資料の配付	通年	県内14か所	4,006枚	おいしいごはんを食べよう県民運動協議会団体実施行事と連携し、ごはん食普及啓発資料を配付		
公益財団法人兵庫県体育協会・兵庫県学校給食・食育支援センター	「ひょうごっ子の給食レシピ～わが町の献立(地場産物)～」の研究	年4回	兵庫県学校給食・食育支援センター他	のべ36人	兵庫県学校給食・食育支援センター	県産品を使用した献立例の調理研究
	「ひょうごっ子の給食レシピ～わが町の献立(地場産物)～」の配布	年11回	県下栄養教諭等配置校	-		県産品を使用した献立例の配布
	体験学習の出前講座「ごはん塾」	9月30日	尼崎市立武庫庄小学校	143人		かまど炊飯体験、保護者対象の食育講義(学校へ出前講座)
	体験学習の出前講座「ごはん塾」	11月24日	姫路市立安室小学校	160人		かまど炊飯体験、保護者対象の食育講義(学校へ出前講座)
特定非営利活動法人ひと・コネクト兵庫	ひと・コネクト兵庫交流会	8月23日	兵庫楽農生活センター	33人	特定非営利活動法人ひと・コネクト兵庫	親子でかまど炊飯体験、野菜の収穫体験、収穫野菜の調理等を実施

令和2年度 おいしいごはんを食べよう県民運動 各会員による取組状況（企業）

6 会員 参加者数 1,330 人

団体名	事業名	時期	場所	参加者数	主催者	事業内容等
株式会社神明	十倉ふるさと交流田	年6回	三田市十倉	10人	株式会社神明	十倉営農組合と一緒に、稲作の研修を通じて地域交流を深める
	おにぎりギネス 第1回RICE FESTIVAL	1月17日	リモート開催	1,022人		「オンラインで同時におにぎりを作った最大人数」ギネス記録に挑戦 参加賞に「あかふじ米」を提供
	神戸婦人大学向け 「お米基礎講座」	10月20日	神明神戸ビル	15人		稲作や米穀流通について研究中の学生向けの講座を開催
阪神米穀株式会社	ホームページでのPR	随時	—	—	阪神米穀	当社ホームページに県民運動とリンク
播州農機販売株式会社	米の食味検査	2月9日～3月3日	播州農機販売本社 兵庫農機販売本社	190点	播州農機販売株式会社	米の食味を測定する食味検査を実施
株式会社マルヤナギ 小倉屋	涼味アレンジレシピ	5月～7月	全国のスーパーマーケット	—	株式会社マルヤナギ 小倉屋	弊社袋佃煮（昆布佃煮）商品デザインに、夏の時期限定で『涼味アレンジレシピ』を掲載。ごはんのお供の昆布佃煮商品にも季節感を出した提案を実施
	佃煮の日	6月	全国のスーパーマーケット	—		6/29: 佃煮の日 記念日に合わせて、全国のスーパーマーケットの方にご協力をいただき、ごはんのお供である佃煮商品で売場設置
	昆布の日	11月	全国のスーパーマーケット	—		11/15: 昆布の日 記念日に合わせて、全国のスーパーマーケットの方にご協力をいただき、ごはんのお供の昆布佃煮商品で売場設置
	『マルヤナギ“昆布佃煮レシピ”総選挙』第1弾	3月	—	—		昆布佃煮を料理の味付けに使うことを提案し、テーマにあわせ弊社で用意した複数のおにぎりレシピで一番食べたいと思ったものに投票してもらおう”昆布佃煮レシピ”総選挙を実施
株式会社淡路屋	お弁当・お弁当コンテスト コラボ弁当販売（最優秀 作品の商品化）	2月26日～2月28日	神戸大丸 食品フロア	60人	大丸松坂屋百貨店 大丸神戸店 株式会社淡路屋	お弁当・おむすびコンテスト”最優秀賞のお弁当を「淡路屋」が再現し、1日限定20個を販売（明石だこや兵庫県産米を使用）
ニシタ米穀株式会社	お米出前授業パワー教室	11月19日	加古川市立平荘小学校	33人	ニシタ米穀株式会社	お米が出来るまでの農作業等を電子黒板を使ってわかりやすく説明 ・粳→玄米→白米（すり鉢の廻り・精米実演・ペットボトル精米） ・小型精米機実演、米ぬかの学習 ・地元のお米、加古川ブランド米（鹿児の華米）や、コウノトリが加古川に飛来したことから、「コウノトリを育む農法」など兵庫県産の米づくりを講話 ・ジュニアお米マイスター認定試験 等

令和2年度 おいしいごはんを食べよう県民運動 各会員による取組状況（行政）

20 会員 参加者数 259,392 人

市町	事業名	時期	場所	参加者数	主催者	事業内容等
神戸市	ごはん給食推進事業	通年	市内小学校・義務教育学校前期課程・特別支援学校	81,700人	神戸市教育委員会	学校給食(週3回)に地元産ブランド米を使用
	ごはん給食推進事業	通年	市内中学校・義務教育学校後期課程	15,000人	神戸市教育委員会	学校給食(週5回)に地元産ブランド米を使用
	小学生等農業体験「ル*ル*ルプログラム」米作り	6月、10月	神戸市西区樋谷	67人	神戸市学校給食会 JA兵庫六甲	農家の協力により、田植え・稲刈りを体験、実際に米を炊きおにぎり体験までするプログラム 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で体験学習はできなかったが、生産者やJAの方の協力で出前授業を実施
	神戸っ子「おにぎりプログラム」	9月～3月	市内各小学校・盲学校(延べ23校)	1,265人	神戸市学校給食会	市内産の米・のりを配布し、食育・地産地消・食文化の継承等理解を深める
尼崎市	お米作り	6月16日、10月7日	尼崎市武庫之荘本町3丁目	100人	JA兵庫六甲(食農先生)	武庫庄小学校5年生を対象に田植、稲刈の体験授業を実施。
伊丹市	おいしいごはんを食べようポスター募集・展示	7月～8月	市内小中学校	77人	伊丹市農業祭実行委員会	夏休み期間を利用してポスターを募集し、優秀作品(10点)を市ホームページで展示
宝塚市	ゲストティーチャー授業	10月23日	中山五台中学校	約80人	宝塚市宝塚市教育委員会	中学2年生向けの授業として実際に農家にきてもらい、講義・実習。黒枝豆のさやとり体験等の実践形式の授業を実施
	西谷野菜即売会	12月13日	宝塚市立文化芸術センター	約250人	自然休養村管理運営協議会	コロナ禍に適応した農産物・加工品の即売
川西市	かわにし食育推進だより「いただきます」の発刊	10月1日	保健センター	2,000人	川西市	食育に興味をもつ市民を増やすため、地域団体や庁内部署等が取り組んでいる食育事業を掲載したリーフレットを発刊・配布
猪名川町	食育啓発	通年	町全域公共施設	12,557世帯	猪名川町	町内各公共施設に食育のぼり旗「毎月17日は『いなの日』いなの日には、みんなでおいしいごはん(米)を食べよう」や食育に関する普及啓発チラシを設置し、ごはんの摂取拡大や食育推進を図っている
	猪名川町食育推進事業	10月1日～	町内外	一般住民等	猪名川町	町広報動画「きらっと☆いながわ」において「歯並びの大切さ」「朝食にご飯とおかずを手軽にとる工夫」をテーマに「いなぼうと学ぼう！食育の巻～」を町ホームページ・Youtubeにて配信
	田んぼ学習「稲刈り作業」	9月4日、14日	六瀬地区田んぼ	六瀬中学校23人	六瀬中学校	稲刈り作業体験を通じて、農家の仕事私たちの暮らしを支えていることを学ぶ
三田市	ひとくちおしゃべりタイム(給食時間の指導)	通年	市内の公立幼小中、県特支高等部	約10,000人	三田市教育委員会	給食を「生きた教材」として活用し、望ましい食習慣を身に付けるとともに食について興味関心を持たせる。給食時間に、給食センター発行の資料「こんしゅうのこんだて」を活用し、1分間程度の食に関する指導を実施
	学校・園で育てた野菜の提供	7月:じゃがいも、たまねぎ、にんじん 9月:かぼちゃ 12月:さつまいも	市内の公立幼小中、県特支高等部	約10,000人	三田市教育委員会	学校・園の菜園で育てた野菜を給食に取り入れ、収穫の喜びやおいしさを共に味わい感謝の心を育てる
	学校給食の充実	通年	市内の公立幼小中、県特支高等部	約10,000人	三田市教育委員会	米は年間を通して三田米を使用し、季節の三田産食材を積極的に導入し、地産地消に取り組んだ
	米粉パンの実施	通年	市内の公立幼小中、県特支高等部	約10,000人	三田市教育委員会	米飯給食の推進に併せ、米粉パンを月1回実施。
	食育啓発作品募集(絵手紙等)	8月3日～10月16日(募集) 10月28日(審査)	市内	119人	三田市教育委員会	三田市内に在園・在学・在住している4才～中学生以下の子どもを対象に、自然豊かな三田の食材を味わう喜びや楽しさと、生産者への感謝の気持ちを、『絵』と『言葉』で伝える絵手紙を募集、審査(応募)119作品(幼22 小87 中10)(入賞)優秀賞3点 入選5点 佳作5点
	食育活動や作品展示	11月18日～11月25日	市総合福祉センター	約300人	三田市教育委員会	三田の学校給食の魅力や食育の大切さについて、広く市民に啓発
	県産和牛肉学校給食提供事業	10月～2月(各センターで4回実施)	市内の公立幼小中、県特支高等部		三田肉流通振興協議会	新型コロナウイルス感染症により需要が落ち込んだ県産和牛肉を学校給食に活用し、牛肉の消費拡大と、児童生徒にその魅力を伝える。また牛柄幕を作成し掲示を促したり、パンフレット、クリアフォルダを配布
	県産水産物学校給食提供事業	10月～2月(各センターで10回実施)	市内の公立幼小中、県特支高等部	約10,000人	兵庫県環境部農林水産局	新型コロナウイルス感染症により需要が落ち込んだ県産水産物食材を学校給食に活用し、水産物の消費拡大と、児童生徒にその魅力を伝える。また、県産水産物のパンフレットを配布した。
	バランス食育教室	3月9日	総合福祉保健センター	5人	三田市健康増進課	栄養士によるバランスのよい食生活についての栄養講話と市販のお惣菜等を上手に活用したメニューを紹介する講座(メニューにごはんを取り入れて紹介)
加古川市	加古川市地元産米飯給食推進事業	通年	市内小学校28校 中学校8校 特別支援学校1校	約19,400人(教職員含む)	教育委員会	市内学校給食に地元産米(ヒノヒカリ)を導入することにより、児童、生徒がおいしい米飯に親しみ、豊かな食生活を形成することを通じて、地元産米の消費拡大を図った 令和2年度は、1月～2月に地元産ブランド米(志方健やか米、玄米15トンを)を使用し、献立表により保護者にも周知

市 町	事業名	時期	場 所	参加者数	主催者	事業内容等
稲美町	米消費拡大推進事業	通年	町内各小・中学校	2,000人	稲美町	学校給食に地元ブランド米「万葉の香」を使用し、米の美味しさを伝える
加東市	「和食給食を味わおう」 和食給食提供日	6月16日	加東市全小中学校	3,081人	加東市教育委員会 学校給食センター	ご飯に小豆を混ぜることで、邪気を祓う力があるとされている赤飯を提供。そうめん汁、伝統的な食べ物の柏餅を提供
	「地元食材を味わおう」 和食給食提供日	11月17日	加東市全小中学校	3,068人	加東市教育委員会 学校給食センター	加東市産ヒノヒカリに加東市産もち麦を混ぜたもち麦ご飯。ご飯に合う冬瓜と豚肉のいため物。加東市産ももゼリーを提供
	「免疫力を高める給食 和食給食提供日	2月24日	加東市全小中学校	2,807人	加東市教育委員会 学校給食センター	加東市産ヒノヒカリと免疫力を高めるため、発酵食品のかす汁を提供
	市制15周年記念給食	3月22日	加東市全小中学校	2,765人	加東市教育委員会 学校給食センター	加東市産ヒノヒカリを提供。ジビエ料理(牡丹汁、シカ肉コロッケ)を通して、いのちの大切さと感謝の気持ちを理解する給食を提供
西脇市	教養講座 料理教室	通年	大野隣保館	52人	大野隣保館	季節の素材を使ったイタリア料理作りを実施
	イタリア料理教室	通年	芳田の里ふれあい館	9人	芳田の里ふれあい館	季節の素材を使ったイタリア料理作りを実施。
	給食ボランティアサービス	6月～3月	西脇コミュニティセンター・黒田庄福祉センター	676人	西脇市社会福祉協議会	給食ボランティアがご飯が主食の主菜や副菜を揃えた栄養バランスのよいお弁当を調理し、高齢者宅へ配達
	教養講座 料理教室	6月9日、7月14日、 8月11日、9月8日、 10月6日、11月10日、 3月9日	隣保館上野会館	のべ35人	隣保館上野会館	健康的な家庭料理づくりを実施
	男の料理(サークル)	6月6日、7月21日、 8月18日、9月15日、 10月20日、11月17日、 3月16日	隣保館上野会館	のべ35人	隣保館上野会館	美味しく、楽しく、簡単に、をモットーに、男性の料理教室を開催
	スキルアップ教室	9月4日、8日、10日	西脇市健康づくりセンター	計25人	西脇市いずみ会	主食をご飯にし、積極的に野菜摂取ができ、減塩に考慮した栄養バランス食を調理実習
	児童館クッキング (感謝の気持ちをカラフル パウンドケーキに込めて)	11月22日	西脇市茜が丘複合施設 みらいえ	15人	こどもプラザ	野菜や果物を生地に練り込み、パウンドケーキを調理、勤労感謝の日に向けて、日頃の感謝の気持ちを伝える
	児童館クッキング (クリスマスランチを作ろう)	12月20日	西脇市茜が丘複合施設 みらいえ	15人	こどもプラザ	小学生を対象に、チキンピラフや苺を使ってサンタクロースの飾りを作り、クリスマスランチプレート作りを実施
	児童館クッキング (春がきたきた弁当)	3月14日	西脇市茜が丘複合施設 みらいえ	21人 (親子7組)	こどもプラザ	親子を対象とし、玄米や大豆等、野菜中心の食材を使ったからだにやさしいお弁当作りを実施
男女共同参画事業(お父 さんと作ろう! ~カンタン ♪お花見弁当~)	3月21日	西脇市茜が丘複合施設 みらいえ	16人 (親子6組)	男女共同参画センター	子どもとの調理体験を通して、男性が家事を楽しむきっかけを作るとともに、家事育児に意欲的な他の男性保護者と交流を図るために企画。簡単で、見た目も楽しいキャラ弁づくりを実施	
姫路市	ひめじ地産地消費フェア	12月20日	大手前公園	1,000人	姫路市	地産地消を目的としたイベントにおいて、市内産米の販売や、ご飯を使った調理品の提供等を実施
	学校給食	6月～3月	市内小学校	39,000人	姫路市教育委員会	米飯回数増の取組を実施
たつの市	たつのハートごはん活動	4月～3月	市内幼稚園・子ども園、小学校、その他	318人	たつのハートごはん	かまどごはん体験を通じて朝ごはんやごはんの大切さを伝える。
	子育て応援動画	通年	たつの市ホームページ	313人	御津子育てつどいの広場	youtubeにて「クマちゃんおにぎりを作ろう」「簡単☆里芋とひき肉の炊き込みご飯」の動画を公開。炊き込みごはんはクックパッドの「おいしい元気たつの」レシピ。
佐用町	四季の料理教室	9月	子育て支援センター	親子8組	佐用町いずみ会	子育て世代の親子といずみ会によるおはぎづくりを実施
	さば寿司講習会	10月	保健センター	15人	佐用町いずみ会	祭りの伝統食である鯖寿司の講習会を実施
豊岡市	地元ブランド米を学校給食で供給	通年	市内 小・中学校	6,100人	豊岡市	学校給食で週5日も地元ブランド米「コウノトリ育むお米」を提供
香美町	お米の食味コンテスト「おいしいお米ミーティングin香美町」	12月22日	村岡体育館	50人	香美町	香美町のお米の素晴らしさの再認識と、栽培意欲と栽培技術向上につなげる機会とする目的でコンテストを実施 表彰式を開催し、試食(感染拡大対策のため個包装)
新温泉町	学校給食	通年	町内各小中学校	約700人	給食センター	地元産米を学校給食に使用(年間使用量15,000キロ)
丹波篠山市	ちくわを作ろう講習会	11月26日	篠山養護学校	33人	兵庫県学校給食・食育支援センター	ちくわをすり身から焼いて作るまでを体験することで、加工食品について学ぶ講習会を実施
	農都のめぐみ米推進事業	10月23日	市内小中学校	のべ2,900人	丹波篠山市農都政策課	農業や化学肥料の量を減らしたり、中干の時期を遅らせて田んぼの生き物の生育に配慮するなど、環境のことを考えた方法で栽培したお米について学び、実際に食べる事業を実施

市 町	事業名	時 期	場 所	参加者数	主催者	事業内容等
丹波市	ごはんのみそ汁教室 (小学生)	10月13日～12月9日	市内小学校	721人	丹波市 丹波市いずみ会	いずみ会が講師となり、子どもたちにごはんのみそ汁が作れる力を身につけさせることを目的に教室開催。2校では調理実習を実施できたが、感染症拡大防止により他校では調理実習を中止。ごはんのみそ汁教室動画とリーフレット(ごはんの炊き方、味噌汁の作り方を実演、朝ごはんを食べよう啓発メッセージ)を作成し、実施予定校に配布。合わせて、朝ごはんアンケートを実施。
	ごはんのみそ汁教室 (中学生)	11月6日～12月21日	市内全中学校	527人	丹波市 丹波市いずみ会	いずみ会が講師となり、健康的な日本型食生活を体験する教室であるが、今年度は感染症拡大防止の為実習を中止。お米のある食生活応援BOOK「料理はじめませんか?」を生徒に配布。合わせて、食育アンケートを実施して日頃の食生活の振り返りを実施した。(対象中学2年生)
	郷土料理講習会	9月17日～11月20日	子育て学習センター、 住民センター	116人	丹波市 丹波市いずみ会	丹波の恵みを使った季節料理、行事食を次世代に伝える教室。行事食の語れを伝え、家庭での実践に繋がるよう調理実習を実施。
洲本市	洲本市いずみ会 クッキング	9月1日	洲本市健康福祉館	3人	洲本市いずみ会	黄・赤・緑の食材を使ったレシピの料理動画を撮影し、ケーブルテレビで放送、食事バランスについて啓発
	食育講話	12月18日	大野幼稚園	17人	洲本市いずみ会	食事バランスプレート等を使用した黄・赤・緑の3色の食品、食事バランスについての講話を実施、副菜を集めたレシピ集の配布